

教科	国語				
科目	現代の国語	単位数	2 単位	履修年次	1 年次～
使用教科書	新 現代の国語 改訂版（三省堂）				
副教材等	常用漢字オールクリア 五訂版(尚文出版)・現代の新国語辞典 第七版(三省堂)				

1 グラデュエーションポリシー及びカリキュラムポリシー

グラデュエーションポリシー	卒業までにこのような資質・能力を育成する。 ①規則正しい生活習慣を確立し、前向きに社会生活に取り組む資質を育成する。 ②主体的に行動し、コミュニケーション能力が高い人間を育成する。 ③他者を尊重し、様々な課題を持つ人との関わりを大切に地域に貢献できる能力を育成する。 ④どのような困難にも立ち向かい、適応できる人間に育てる。
カリキュラムポリシー	資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う。 ①毎日学校に通うことを目標に、生活リズムを崩さない行動を促す。 ②日々の挨拶や、ルールやマナーを意識した学校生活を行う。 ③他者の立場を尊重し、思いやりや寛容の精神を育成するため、人権同和教育に力を入れる。（年3回以上はクラス単位での授業を行う） ④総合的な探究の時間において、1年次から系統的なキャリア教育を展開する。

2 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通じて、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

3 指導の重点

- ①実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。
- ②文章の的確な理解から、自分の考えを深め、発展させる。
- ③様々な論理的文章に触れながら、論理的文章の読み方と書き方を身につける。

4 学習計画

学期	単元名	教材	学習内容(指導内容)	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	評価方法
前期	入門	「言葉と声で表そう」	写真を見て想像した発言・会話の内容をわかりやすく効果的に発表する。	1	1		定期考査 提出物 授業態度 小テスト
	わかり合うために	「届く言葉、届かない言葉」わかりあえないことから	心に届く言葉とはどのようなものかについて考える。事例と考えとを区別する。		4	4	
	確かな情報を伝えるために	「ひとまず信じない」	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。	4	3	1	
	情報を活かすために	「人が死なない防災」「減災学をつくる」	調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる。	2	5	1	
	よりよい読み手になるために	「読むことのレッスン」「水の東西」「コインは円形か」	個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。	1	3	5	
後期	場に応じて伝えるために	「中身当てクイズ」「読み比べる」「構成や展開を意識して発表する」	話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料を効果的に用いたりする。	5	3	1	定期考査 提出物 授業態度 小テスト
	説得力を高めるために	『「まるごとのあなた」を』『小さな哲学者』	引用の目的や働きを理解する。説明の仕方を考える。	2	5	1	
	考えを共有していくために	「最短ルートは店の中」「記憶の解凍」	引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深める。	4	3	1	
	よりよい書き手になるために	「ありのままの世界は見えない」「ものごととば」	推論の仕方を理解する。自分なりの考えをまとめる。	1	6	1	
	まとめ	「言葉で世界を豊かに」	言葉の特徴や使い方を学ぶ。		2		
				20	35	15	(50分授業)

5 課題・提出物等

課題・提出物は、締め切りを確実に守って提出すること。
授業時間を利用して、小テストを実施する。しっかり準備して臨むこと。

6 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的思考力・共感力・想像力を伸ばし、伝達力を高め、自己表現の力を鍛えている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうと粘り強く努力しようとしている。

7 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【評価】 考査・提出物の内容・授業中の発言の「知識・技能」分野が十分に満足できる状況と判断できる・・・A おおむね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できる・・・C	【評価】 考査・提出物の内容・授業中の発言の「思考・判断・表現」分野が十分に満足できる状況と判断できる・・・A おおむね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できる・・・C	【評価】 提出物の内容や振り返りシート・授業中の発言が十分に満足できる状況と判断できる・・・A おおむね満足できる状況と判断できる・・・B 努力を要する状況と判断できる・・・C

8 担当者からの一言

国語の目標は自己の表現であり、同時に相手の表現を理解することも大切です。小テストで小さな努力を積み重ね、漢字や語彙など国語の基礎力をつけよう。受け身ではなく、自ら学んで思考力を高める努力をしよう。読書に親しみ、読むことで広がる世界を楽しもう。